

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

# 両沼地方稲作情報 第5号

令和元年9月12日更新

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)

” 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店

(有)山一米穀店、会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区

## —刈り遅れに注意！—

☆ 出穂期は平年並みでした。出穂後30日間は落水せず、間断灌水で管理しましょう。

☆ 出穂後積算気温を確認しながら、適期刈取（黄化率85%～90%）に努めましょう。

### 1 気象情報 (令和元年9月12日 仙台管区气象台発表「東北地方1か月予報」より一部抜粋) <9月14日～10月13日までの天候見通し>

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、ほぼ平年並の見込みです。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

### 2 生育状況

会津坂下普及所の作柄判定ほの調査結果(表1)によると、ひとめぼれ(湯川村)は8月5日と、平年より3日遅くなりました。コシヒカリ(会津美里町)とひとめぼれ(昭和村)平年並みでした。

表1 品種別の出穂期

品種名	移植日(播種日)		出穂期	
	本年	平年	本年	平年
コシヒカリ(会津美里町)	5月16日	5月15日	8月8日	8月8日
ひとめぼれ(湯川村)	5月21日	5月19日	8月5日	8月2日
ひとめぼれ(昭和村)	5月23日	5月23日	8月4日	8月3日
直播コシヒカリ(会津美里町)	5月2日	5月1日	8月12日	8月13日

※平年値は直近5年間の平均値。

### 3 今後の作業について

時期	8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
生育ステージ	出穂期	登熟期			→ 成熟期	
水管理	湛水管理	→	間断灌水	→	落水	
防除作業		カメムシ防除				

- ・ 水稻は、登熟期間に穂へ養分を送り、米粒を肥大させます。このため、出穂30日頃までは田面を白乾させないように注意しましょう。

**9/1～10/31 は秋の農作業安全運動期間です！ 農作業事故に注意しましょう。**

#### 4 適期刈取

刈取適期は出穂後の積算気温で 950℃～1100℃、籾の黄化率が 85～90%になった時期で、概ね出穂後 40～50 日です。刈り遅れ（目安：積算気温で 1,200℃以上）は品質低下の原因になります。

出穂後の積算気温を目安に収穫の作業計画を立てるとともに、実際の籾の黄化率を十分確認して適期刈取を行い、刈り遅れによる品質低下に気をつけましょう。



図1 収穫日の判断のしかた



図2 黄化率 90%の稲穂

表2 出穂後積算気温と刈取適期予想

品種	平均出穂期	到達日（予想）			
		900℃	950℃	1,050℃	1,100℃
ひとめぼれ(平坦部)	8月2日	9月5日	9月8日	9月12日	9月15日
コシヒカリ(平坦部)	8月8日	9月14日	9月16日	9月21日	9月24日
ひとめぼれ(山間部)	8月3日	9月11日	9月14日	9月19日	9月22日
直播コシヒカリ(平坦部)	8月13日	9月21日	9月24日	9月30日	10月3日

※9月12日までは実測値(日平均気温)を、以降は日平均気温の平年値を使用した。なお、平坦部は若松アメダス、山間部は金山アメダスのデータを使用した。

#### 5 生わらのすき込みについて

生わらは貴重な有機資源です。燃やさずに、水田にすき込むなど有効活用しましょう。生わらのすき込みは、土壌を柔らかくし、地力を増やす効果があります。

微生物が活動し生わらを分解するには、水分、温度、酸素の3条件を満たすことが重要です。

- ① 収穫したあと乾燥しすぎないうちにすき込みます。
- ② 気温が暖かい10月中旬までに浅耕（5～10 cm）します。深く耕耘すると分解が遅れます。
- ③ 生わらをすき込む場合は、たい肥、土壌改良資材、石灰窒素等を使用して、生わらの分解促進を図りましょう。

#### 令和元年産米全量全袋検査について（放射線対策）

出荷米、保有米、縁故米、くず米など全ての米を検査します。引き続き御協力をお願いします

御不明な点は最寄りの発行元または普及所までお問い合わせください。